

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人砥部寿会	代表者	菅原哲雄	法人・事業所の特徴	「利用者一人ひとりの思い、家族の希望に寄り添います」「人と人がつながり、共に支えあい、共に笑い合える暮らしの輪を広げます」「住み慣れた地域でのその人らしい暮らしを支えます」「利用者の暮らしを支える全ての人々の思いを大切にします」をモットーに、ご家族や関係機関と連携して、自宅で生活する利用者様の24時間365日を捉えた個別ケアの提供を目指している。					
事業所名	小規模多機能ホーム あつたか	管理者	西岡佳代							

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	3人	人	1人	人	1人	3人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・好評頂いた意見については、継続し改善の必要な意見について職員全員で取り組む。	・家族様の要望により始めた口腔体操が毎日の日課となり継続できた。	・コロナ禍により、面会制限や行事など延期や中止があった事で事業所の中を見ていただく機会が減った。	・利用者様と家族様と一緒に関わりの中で配慮の必要な場面、方法について確認しながら取り組む。
B. 事業所のしつらえ・環境	・個別の利用者に合った夜間帯のリスクに対する環境設定に取り組み改善できたので、日中の共有スペースでの過ごし方・環境について再度見直し取り組む。	・利用者様への対応について職員間で話し合い、トイレにゴミ箱を設置する事で脱衣所でのプライバシーを守る事ができた。 ・利用者様にとっての通いの環境で過ごしやすい場所の準備ができた。 (和室や上がり畳の使用)	・職員間でプライバシーの配慮という視点から環境について見直す事ができた。	・環境作りや利用者様の状態変化への対応について今回できなかった点を振り返り継続して取り組む。
C. 事業所と地域のかかわり	・あつたか広場だけのかかわりでなく、地域の団体（ぽっかぽか）と合ったかと広報活動の中で協力しあいの情報発信・活動内容の活性化に取り組む。	・コロナ禍により地域との共同的な取り組みはできなかった。 ・コロナ禍でありながらも、外食企画をティーアウトにしたり、交流行事を感染予防対策を徹底した上でふれあい方の工夫により実施できた。	・情報発信において、職員一人ひとりがタイマーな発信をするという意識が薄かった。 ・法人のホームページがリニューアルするにあたり、情報発信のきっかけ作りになるのではないか。	・コロナ禍で地域の方が事業所を訪れるにくい状況が続く事が考えられるため、情報発信の意義を職員間で理解し、取り組みや関わりを発信し続ける。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・利用者自身の持っている力を引き続き地域の資源として活かせるような支え方を提案、提供していく。（継続） ・他の利用者への関わりについても同様に取り組む。	・継続して地域で活動している利用者様の活動のサポートも継続できている。 ・（他の利用者様）→職員の提案で利用者様が経験した事のない楽器を演奏する事ができた。	・コロナ禍の影響もあり、地域へ出る、地域の方が来る事に制限があった。 ・利用者様が重度化して自宅よりあつたかでの生活時間が増えたため、今までの生活スタイルを継続しにくくなった。	・利用者様の今までの生活の中で活用した社会資源だけにとらわれず、自分たちの視点も切り替えて（コロナ禍であっても）新しい地域資源の発見や開発に努める。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・あつたか広場（小規模）での取り組みを再度広めるきっかけとして情報発信に取り組む。（ぽっかぽか通信へのコラム掲載）	・ぽっかぽか通信へのコラムは継続ができている。	・コロナ禍で運営推進会議を書面開催で行った事で対面での意見交換が例年より少なかった。	・書面開催も含め、地域の方や運営推進会議の参加者にもあつたか広場（小規模）の取り組みを広める情報発信を継続する。
F. 事業所の防災・災害対策	・避難訓練などを通して、家族や地域と災害発生時の協力体制を強化する。 (台風や地震など事業所にとって緊急時の際の協力体制については、継続した課題であるため前回改善計画を継続)	・一部地域の人しか避難訓練に参加して頂く事ができなかった。	・事業所職員は、コロナ禍において協力体制の取りににくい場面でどう対応するのか考えるきっかけになった。	・コロナ禍での災害発生時の対応も含め、家族様や地域の方との協力体制を強化する。（継続）

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年 10月 26 日 (18:00~20:30)
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	13人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	7人	1人	人	13人

前回の改善計画

- 職員カードは継続して活用する。
- 利用者によって初期支援時の情報と実際が大きく異なる場合もある。実際に早い段階での関わりで得た情報を利用者カードとして作成し職員間で共有できるようにする。
→(様々な働き方の職員があり、関わりに差がある)

前回の改善計画に対する取組み結果

- 利用者カードの作成には、至らなかったが、職員同士の情報共有については意識して取り組むことができた。
- 職員カードは、継続して活用中である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	7	6	0	0	13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	5	6	2	0	13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができますか?	6	7	0	0	13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	5	5	1	0	13

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- サービス評価を開始して以来、同じメンバーの職員と話し合い続けた結果、初期支援について意識し新規利用者様への関わり方について工夫することができた。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- 利用者様との関わりの中で得た情報を、利用者カードとして作成することはできなかった。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- 初期支援で得た情報を利用者カードとして作成し、職員間で共有できるようにする。(継続)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和2年 10月 26日 (18:00 ~20:30)
2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）	メンバー 13人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	4人	6人	2人	1人	13人

前回の改善計画

- ・本人様のできること、したいことを見極める視点を持ち、思いをくみとりながら実現に向けて取り組む。（職員は手を出し過ぎないように気を付ける）

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・利用者様のしたい事について、職員は自己決定できるようサポートの姿勢で関わることができた。
- ・職員が、手を出し過ぎないよう、自宅での生活を意識して関わることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	1	9	1	2	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	2	8	1	2	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	1	8	8	2	13
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	2	8	1	2	13

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・利用者様の日々の変化や、できる事について、その方の今の状態を見極め、伝え合いながら職員間で共有できた。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・職員サイドの視点で本人様の「～したい、～できる」を決めてしまっている恐れがある。
- ・利用者様、全ての方に「～したい」の関わりが出来ているわけではない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・「～したい」の実現を在宅での生活を基本として捉え、実現に向けて利用者様との関りを深めていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年10月26日(18:00~20:30)
3. 日常生活の支援	メンバー	13人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	5人	0人	2人	13人

前回の改善計画

- 泊まり時だけでなく、通いの場面での環境作りにおいても取り組む。

前回の改善計画に対する取組み結果

- 日中、夜間の環境作りについては、意識して取り組んでいる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	7	5	1	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	9	4	0	0	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならぬい声をチームで言語化できていますか?	2	8	1	2	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	7	5	0	1	13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時に支援できていますか?	6	6	0	1	13

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 本人様にとって、通いの環境で過ごしやすい場所の準備ができている。(和室・あがり畳の使用)
- 職員間でこうした方が良いのでは?という意見が以前より、出せるようになった。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- 利用者様の状態が日々変化する中で、細かな配慮が十分でない場面があった。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- 環境作りや利用者様の状態変化への対応について、今回できなかった点を振り返り継続して取り組む。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和2年 10月 26日 (18:00 ~20:30)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー 13人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	7人	3人	2人	13人

前回の改善計画

- おひとりだけでなく、他の利用者様の力を見つけ社会資源として発揮できるようにサポートする。

前回の改善計画に対する取組み結果

- 継続して地域で活動している利用者様の活動のサポートも継続できている。(発表会前の練習として)
- 職員の提案で利用者様が経験した事のない楽器を演奏する事ができた。その内容を職員間で共有し感動も共有できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	8	1	2	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	3	9	0	2	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	9	2	2	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	6	2	2	13

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 以前からの地域活動が継続できている利用者様がいる。
(事業所として、そのための準備をサポートすることができた)

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- コロナ禍の影響もあり、地域へ出る、地域の方が来ることに制限がかかった。
- 利用者様の介護度が重度化して自宅よりあったかでの生活時間が増えたため、今までの生活スタイルを継続できていない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- 今までの生活の中で、活用した社会資源だけにとらわれず、自分達の視点を切り替え、新しい地域資源の発見や開拓に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和2年 10月26日 (18:00~20:30)
-----	---------------------------

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー	13人
------	-----

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	8人	2人	2人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 利用開始から長期的に利用継続されている方も多いため、本人様にとって現状のサービス利用の見直しをする。 地域資源の活用について、活用できていない方にとっての地域資源を見つける。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 家族様の協力を得ながら、本人様が自宅で過ごす時間を作つてもらうようサービス調整を行つた。 地域資源の活用が、できていない方にとっての地域資源を見つけることができなかつた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	9	2	1	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	9	3	0	1	13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	5	7	0	1	13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができますか?	6	5	1	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者様、家族様に対して必要な対応や支援ができている。 (長期的に利用継続して下さっている利用者様、家族様との関係が深まっているから)	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・インフルエンザやコロナウィルスの予防で例年に比べると、地域との関り自体が制限された。 ・地域資源について、把握や活用についての視点が薄かった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・利用者様の日々の状態変化について、情報の共有や伝達の工夫をする事で様々な働き方の職員であつても不足なく関われるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年10月26日(18:00~20:30)
6. 連携・協働	メンバー	13人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3人	8人	1人	1人	13人

前回の改善計画

- ・(継続) 事業所のブログや広報誌を中心に職員一人ひとりがタイムリーな情報発信を意識し実践する。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・ブログ、広報誌で情報発信しやすいように写真に残すようにしていた。
- ・タイムリーに情報発信する意識の差異が職員間であった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	3	6	1	3	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	3	4	4	13
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	1	4	3	4	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	9	1	3	13

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・コロナウィルス対策を徹底しながらぼつかばかさんとの関りは継続できている。
(ソーシャルディスタンスを保ちつつ、窓越しなどで関わりは継続)
- ・他事業所とは、研修等で関わる際に情報発信を心掛けている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・情報発信において、職員一人ひとりがタイムリーな発信をするという意識が薄かった。
- ・行事や関わり自体への参加が例年より少なかった。
- ・インフルエンザ流行からその後コロナウィルス感染対策が開始となり、通常実施していた行事やイベントの開催ができなかった。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・コロナ禍で地域の方々が、事業所に訪れにくい状況が続くことが考えられるため、情報発信の意義を職員間で理解し、取り組みや関わりを発信し続ける。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年 10 月 26日 (18:00~20:30)
7. 運営	メンバー	13人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	8人	2人	2人	13人

前回の改善計画

- 事業所から地域へ向けての働きかけが不足しているので、引き続き情報発信に取り組む。
(継続)

前回の改善計画に対する取組み結果

- 前回、家族様よりコラボ企画の発案を頂いたコラム(ぽっかぽか通信)で毎月発信できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	1	8	2	3	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	9	0	2	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	8	1	2	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	7	3	2	13

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 家族様からの要望がきっかけで始めた口腔体操が、毎日の日課として継続できている。
(自分たちが、利用者様にとって必要な事として捉え毎日提供する活動として実施、継続できた)

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- 継続的な地域との協同した取り組みは行えなかった。(実際にコロナ禍の影響は感じている)

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- 今後もインフルエンザやコロナウィルスの対策は取りながら、「できない」と捉えるのではなく、工夫しながら取り組んでいく。

※ 外食企画→テイクアウト

交流行事→感染予防対策を徹底した上でのふれ合い方の工夫

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和2年 10月 26 日 (18:00~20:30)
-----	-----------------------------

8. 質を向上するための取組み

メンバー	13人
------	-----

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	6人	1人	2人	人

前回の改善計画	
<ul style="list-style-type: none"> 研修の時間帯や内容等、多様な働き方であっても研修に参加出来るような機会を作る。 ミーティング以外でも伝達研修の時間を作る。 	

前回の改善計画に対する取組み結果	
<ul style="list-style-type: none"> 様々な働き方であっても、研修の参加者より伝達研修によって学ぶことができた。 コロナ禍の影響により、例年より外部研修の参加は少なかったが、事業所としての内部研修については、変わらず取り組むことができている。 	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	3	8	0	2	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	8	2	2	13
③	地域連絡会に参加していますか	1	6	3	3	13
④	リスクマネジメントに取組んでいますか	6	5	0	3	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ヒヤリハットを意識して、報告書を提出する事でリスクマネジメントの視点で環境作りが継続できている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ミーティング以外での研修の時間の確保が難しかった。 外部研修への申し込みはしていたが、中止が多かった。(コロナ禍において) 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ミーティングでの伝達研修の方法を(参加できない職員への)を別の手段で学べるようにする。 ※動画や音声、レジメの活用 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和2年 10月26日 (18:00 ~20:30)
-----	-----------------------------

9. 人権・プライバシー

メンバー	13 人
------	------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組みましたか?	9人	3人	人	1人	13人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> 継続して写真や動画を活用しながら利用者様のケアや対応方法の確認をする。 日頃から利用者様へ配慮の必要な場面、方法、対応について確認し合う。

前回の改善計画に対する取組み結果

- 利用者への対応について、プライバシーの視点で職員間で話し合いトイレにごみ箱を設置する事で脱衣所でのプライバシーを守ることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	身体拘束をしていない	12	1	0	0	13
②	虐待は行われていない	12	1	0	0	13
③	プライバシーが守られている	9	4	0	0	13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	9	3	0	1	13
⑤	適正な個人情報の管理ができている	11	2		1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者様にとってのプライバシーの配慮が特別なこととして捉えるのではなく、さりげなく当たり前の事になりつつある。 (勤務年数が長くなり職員の中で意識し合えるようになった)	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・長期利用の利用者様との信頼関係を築くことができ深くなることで、言葉遣いや対応について、配慮が不足する恐れがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・今回、取り組んだプライバシーへの配慮について場所だけでなく、ケアの場面においても見直しをし工夫していく。	